

# 国立歴史民俗博物館 研究報告 第4集

北海道の縄文・続縄文文化の狩猟と漁撈—— 西本豊弘  
——動物遺存体の分析を中心として——

わが国中世使用揚水車の復元 今谷 明

伝統的漁民の類型化にむけて  
——漁撈民俗研究への一試論—— 高桑 守

景観の民俗学  
——山麓農村の景観—— 松崎憲三

民俗技術における系譜意識とその背景  
——関東の草屋根葺きを中心として—— 大島暁雄

塔における心柱立と棟上 濱島正士

洛中洛外図屏風のおもしろさ  
——町田本・上杉本の画面—— 水藤 真

江戸のみかん  
——明るい近世像—— 塚本 学

史料紹介『金毘羅参詣道中日記』 山本光正

昭和59年3月

国立歴史民俗博物館  
研究報告  
第4集

\*目次

■北海道の縄文・続縄文文化の狩猟と漁撈……………西本 豊弘	1
——動物遺存体の分析を中心として——	
■わが国中世使用揚水車の復元……………今谷 明	17
■伝統的漁民の類型化にむけて……………高桑 守	57
——漁撈民俗研究への一試論——	
■景観の民俗学……………松崎 憲三	71
——山麓農村の景観——	
■民俗技術における系譜意識とその背景……………大島 暁雄	97
——関東の草屋根葺きを中心として——	
~~~~~	
■塔における心柱立と棟上……………濱島 正士	1
■洛中洛外図屏風のおもしろさ……………水藤 真	19
——町田本・上杉本の画面——	
■江戸のみかん……………塚本 学	29
——明るい近世像——	
■史料紹介『金毘羅参詣道中日記』……………山本 光正	55

昭和59年3月

**Bulletin of  
the National Museum of  
Japanese History  
vol. 4**

**Contents:**

- NISHIMOTO, T. The Hunting and Fishing Activities of the Jōmon  
and the Epi-Jōmon Culture ..... 1  
—An Analysis on the Faunal Remains—
- IMATANI, A. The Restoration of Medieval Irrigation Wheels.....17
- TAKAKUWA, M. Towards a Typology of Traditional Japanese  
Fishermen .....57  
—A Preparatory Study on the Folklore of Fishermen—
- MATSUZAKI, K. The Folklore of Landscape .....71  
—The Landscape of a Village at the Foot of a  
Mountain—
- ŌSHIMA, A. School Consciousness Underlying Traditional Craft  
Skill and its Background .....97  
—Thatchers in the Kanto Region—  
~~~~~
- HAMASHIMA, M. The Construction of Central Pillars and the Formation  
of Pagoda Frameworks ..... 1
- SUITŌ, M. Interesting Aspects of *Rakuchurakugaizu*.....19  
—The Painting of Machidabon and Uesugibon—
- TSUKAMOTO, M. Mandarin Orange in Edo .....29
- YAMAMOTO, M. A Study of the Diary *Konpirasankeidochunikki*.....55  
—“A Journey to the Konpira”—

Mar. 1984

### 国立歴史民俗博物館研究報告寄稿要項

1. 国立歴史民俗博物館研究報告は、歴史学、考古学、民俗学およびそれらの協業による広義の歴史学ならびにそれらと関連する諸科学に関する論文、資料・研究ノート、調査研究活動報告等を掲載・発表することにより、それらの学問の発展に寄与するものである。
2. 国立歴史民俗博物館研究報告に寄稿することができる者は、次のとおりとする。
  - (1) 国立歴史民俗博物館（以下「本館」という。）の教官（客員教授等を含む。）および本館の組織、運営に関与する者
  - (2) 本館が受け入れた各種研究員および研究協力者等
  - (3) その他本館において適当と認めた者
3. 原稿を寄稿する場合は、論文、資料・研究ノート、調査研究活動報告等のうち、いずれであるかをその表紙に明記するものとする。なお、この区分についての最終的な調整は、国立歴史民俗博物館研究委員会（以下「研究委員会」という。）において行う。
4. 原稿執筆における使用言語は、日本語を原則とする。ただし、他の言語を用いる場合は、研究委員会に相談するものとする。
5. 特殊な文字、記号、印刷方法等が必要な場合は、研究委員会に相談するものとする。
6. 寄稿する原稿には、原則として英文により400語程度の要旨を付けるか、あるいは英訳用の和文800字以内の要旨を付けるものとする。
7. 寄稿する原稿の枚数は、原則として制限しない。ただし、研究委員会の判断により、紙数等の関係から分割して掲載することがある。
8. 寄稿する原稿は、必ず清書し、原稿の写し1部を添付するものとする。
9. 寄稿された原稿は、研究委員会において検討のうえ、採否を決定する。
10. 稿料の支払い、掲載料の徴収は行わない。
11. 原稿の寄稿先および連絡先は、次のとおりとする。

〒285 佐倉市城内町117番地 国立歴史民俗博物館内  
国立歴史民俗博物館研究委員会（電話 代表 0434—86—0123）

---

### 国立歴史民俗博物館研究報告 第4集

---

昭和59年3月24日 印刷

昭和59年3月28日 発行（非売品）

編集・発行 国立歴史民俗博物館  
〒285 千葉県佐倉市城内町117  
電話 0434—86—0123（代表）

印刷 第一法規出版株式会社  
〒107 東京都港区南青山2—11—17  
電話 03—404—2251（代表）

# Bulletin of the National Museum of Japanese History vol.4

- NISHIMOTO, T. The Hunting and Fishing Activities of the Jōmon  
and the Epi-Jōmon Culture  
—An Analysis on the Faunal Remains—
- IMATANI, A. The Restoration of Medieval Irrigation Wheels
- TAKAKUWA, M. Towards a Typology of Traditional Japanese Fishermen  
—A Preparatory Study on the Folklore of Fishermen—
- MATSUZAKI, K. The Folklore of Landscape  
—The Landscape of a Village at the Foot of a Mountain—
- ŌSHIMA, A. School Consciousness Underlying Traditional Craft Skill  
and its Background—Thatchers in the Kanto Region—
- HAMASHIMA, M. The Construction of Central Pillars  
and the Formation of Pagoda Frameworks
- SUITŌ, M. Interesting Aspects of *Rakuchurakugaizu*  
—The Painting of Machidabon and Uesugibon—
- TSUKAMOTO, M. Mandarin Orange in Edo
- YAMAMOTO, M. A Study of the Diary *Konpirasankeidochunikki*  
—“A Journey to the Konpira”—

Mar. 1984